

水にありがとう

中郷小学校

五年一組

山岸

恭平

ぼくが四年生の時、社会で、くらしをささ
える水、という勉強をしました。茨川市には
日本で二番目に長い利根川が流れていて、ぼ
くたちのくらしをささえています。

ぼくたちが毎日使っている水道の飲み水は
浄水場にある大きな池で、ゴミをしずめたり、
水をろかしたり、消毒をしたりして、きれい
ご安心な水に生まれ変わります。ぼくたちが

水道の水をおいしく飲めるのは、休日も夜も
二十四時間交代で働いている浄水場の人や
のほか、たしさんの人たちの工夫と努力のおか
げであるということも学びました。

それだけではありません。トイレやお風呂、
洗たくなど、ぼくたちがくらしで使った水は
どこへ行くのでしょうか。それは、下水道を
通って玉村町の県央水質浄化センターに行き
ます。そこでよごれた水をきれいによみが
えらせてまた利根川にもどしているのです。

もしよごれた水を元のまま川に流してしまっ
たら、水がどんどんよごれ、人がくらせなく
なってしまいます。下流の埼玉県や東京都の
人たちは困ってしまいます。ぼくは、きれいな
水とよごれた水がまざらないように分けて
いるの、しくみ」がすごいなと思います。
そして、そこにモキッとしたくさんの人たちの
工夫や努力があるのだと思います。

お父さんと社会の教科書を見ながら水道の
話をしていたら、

「SDGsには、水についてどんなことが書
かれているんだろう？」
と言われたので、ぼくは気になって調べてみ
ることにしました。

SDGsは「持続可能な開発目標」のこと
で、人類がこの地球ですべてとくらし続けられ
るよう、全部で十七の目標があります。そ
の中に「安全な水とトイレを世界中に」こ
いう目標がありました。読んでいくと、水道
の設備がないくらいをしている人は世界に約

二十二億人いるそうです。また、トイレがな
 く草むらや屋外で用を足している人が約七億
 人いることも分かりました。日本では、毎日
 あたりまえのように水道から出る水を飲み、
 清潔なトイレを使っています。でも、世界で
 は日本の人口の何倍もの人々が安全な水とト
 イレを使えないのです。そして、それがキッ
 かけで病気になり、七くなっています。人もい
 るそうです。ぼくは、とてもびっくりしました。
 ものと調べていくと、水道が無い国に生

5

6

まれた女の子の一日」という動画がありました。
 た。十三才の子が毎日八時間もかけて歩いて
 水をくみに行っていました。でも、一日に使
 う水の量はたった五リットルだそうです。五
 リットルなんて、日本ではトイレを一回流す
 だけで終わってしまいう量です。しかも、その
 家族は色が茶色、ぼくなっているところもよ
 ぎれている水を飲んでいました。
 ぼくは、SDGsの目標は、とても大切なこ
 とだと思いました。二〇三〇年までの目標と

な、ているけれど、もっと早くに世界中に日本のような水道のしくみかできるといいなと思います。

でも、今のほくには水道の設備を作ることはできません。では、今の自分にできることは何でしょうか。それは、水を大切にすることです。例えば、シャワーや歯みかきの時、こまめに水を止めたいと思います。それと、水をいきおいよく出しすぎないようにしたいと思います。ほくができる一つ一つのこととは、

とても小さいことですが、これからは意識してバカけていきたいと思います。お母さんに聞いたら、お母さんはお風呂の残り湯を使って洗たくをしたり、油のよごれをふき取ってから、お皿を洗っているそうです。ほくは、この作文をき、かけに、水の大切さに気づくことができてよかったです。水に感謝し、水を大切にしていきたいです。

Empty grid for handwriting practice.